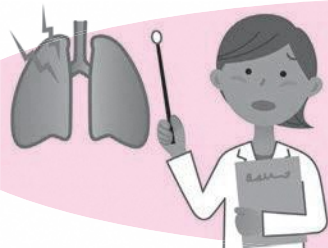


現代でも油断できない「結核」を知ろう！



9月24日～30日は 結核予防週間



どのように感染する？
結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。結核に感染している人が咳やくしゃみをするとき、空気中に菌が飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによって感染します（空気感染）。

結核は「昔の病気」ではない
結核は、かつては「国民病」として恐れられ、50年前までは死亡原因の第1位でしたが、医療や生活水準の向上により、完治できる時代になりました。しかし、今でも年間1万5千人以上の新しい患者が発生し、約2千人が命を落としている日本の主要な感染症です。石川県でも、毎年100人以上の人が結核にかかっています。

結核ってどんな病気？



結核は、咳、痰、微熱、体のだるさなど風邪に似た症状で始まります。進行すると、やがて血痰、息苦しさ、寝汗、食欲減退、体重減少などが起こるようになります。通常の風邪であれば1週間ほどで治ることがほとんどですが、結核の場合は症状が2週間以上続いたり、一旦よくなっても繰り返したりします。風邪の症状が長く続く場合には、医療機関を受診しましょう。

もし結核と診断されても、服薬治療を始めれば1～2か月で周りの人に感染させることはなくなります。しかし、治療の途中で服薬を中断してしまうと完全に治りきらず、薬が効かない耐性結核菌を作り出してしまいう危険性があるため、6～9か月間、中断せずに毎日薬を飲み続けることが重要です。

感染してもすべての人が発病するわけではありませんが、病気などで免疫力が落ちると、抑え込まれていた結核菌が再び活動を始めて発病する可能性があります。

結核の予防と早期発見を

結核の予防には、健康的な生活で免疫力を高めておくことが大切です。適度な運動と十分な睡眠、バランスの良い食事を心がけましょう。

また、乳幼児にはBCGワクチンの予防接種が有効です。対象者には市から接種券が送付されるので、生後1歳までの間に必ず接種しましょう。

石川県内で結核にかかる人のうち、約7割が70歳以上の高齢者です。市の肺がん検診では65歳以上の人を対象に結核検診も同時に実施しています。毎年検診を受診し、肺に異常がないか確認しましょう。